



# ViewMail for Outlook でのメッセージの管理

---

- [ボイス メッセージの送信 \(P.10\)](#)
- [メッセージの確認 \(P.11\)](#)
- [メッセージへの返信 \(P.12\)](#)
- [ボイスメッセージの転送 \(P.12\)](#)
- [削除されたメッセージの管理 \(P.13\)](#)

## ボイス メッセージの送信

Outlook からボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音することができます。メッセージを送信したり、メッセージに返信したり、メッセージを転送できるのは他のユーザに対してだけでなく、パブリック同報リストや電子メール アドレスに対しても行えます。

組織内に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションに存在するユーザに対してもメッセージを送信したり、返信することもできます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注)

Cisco Unity Connection メールボックスのサイズが割り当て分を超えると、メッセージを送信できない場合があります (25 ページの「[メールボックスのサイズの管理](#)」を参照してください)。

### ボイス メッセージを送信するには

**ステップ 1** Outlook 受信トレイの Outlook ツールバーで、[新しいボイスメッセージ] アイコンをクリックします。

または、

[アクション] メニューで、[新しいボイスメッセージ] をクリックします。

**ステップ 2** Connection ユーザ名または電子メール アドレスと、件名を入力します。



(注)

電子メール アドレスに対するメッセージは、サウンド (WAV) ファイルとして、電子メール メッセージに添付して送信されます。

**ステップ 3** Media Master で、[録音] (丸) をクリックしてメッセージを録音します。

**ステップ 4** 録音が終了したら、[停止] (正方形) をクリックします。

**ステップ 5** 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

**ステップ 6** [送信] をクリックします。

## メッセージの確認

Outlook でボイス メッセージと受信確認をチェックできます。ボイス メッセージと受信確認は、電子メールとは別個の Outlook フォルダ内に保存されます。

一度開かれた新規のメッセージは、削除されるまで保存されます。Connection がメッセージ保存ポリシーを強制的に実行するように設定されている場合は、管理者にシステムからメッセージが完全に削除されるまでの期間を確認してください。Connection は、メッセージ保存ポリシーが強制的に実行されることを通知しません。また、このポリシーを実行した結果、メッセージが完全に削除されることも警告しません。

[送信元] フィールドの情報は送信者を示します。通常、このフィールドには Connection ユーザの名前が含まれますが、メッセージを残した人物が Connection ユーザではなかった場合や、メッセージを残す前に Connection にログオンしていなかった場合は、「Unity Connection Messaging System」という文字列が含まれます。発信者の電話番号がわかる場合は、[件名] フィールドに番号が表示されます。

システムの設定によっては、ボイス メッセージを含む Outlook フォルダ内に他のタイプのメッセージ（ファックス メッセージなど）が表示されることがあります。

### メッセージを確認するには

---

**ステップ 1** ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、メッセージをダブルクリックして開きます。



(注) Outlook のプレビュー ペインではメッセージを確認できません。

---

**ステップ 2** ボイス メッセージを開いた状態で、Media Master の [再生] (右矢印) をクリックして、メッセージを再生します。

**ステップ 3** 電子メール メッセージを管理する場合と同じように、メッセージ ツールバーのボタンを使用してメッセージを管理します。

---

## メッセージへの返信

ボイス メッセージに返信したり、返信を録音して電子メールに返信するには、このセクションの手順に従います。返信先として指定されるのは送信者のみですが、受信者を追加することもできます。

「Unity Connection Messaging System」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザではないか、メッセージを残したときにログオンしていなかったことを意味します。このような発信者からのメッセージには返信できません。

### メッセージに返信するには

---

**ステップ 1** ボイス メッセージを開いた状態で、[返信] をクリックします。

または、

電子メール メッセージを開いた状態で、[アクション] メニューの [音声で返信] をクリックします。

**ステップ 2** Media Master で、[録音] (丸) をクリックします。

**ステップ 3** 録音を終了したら、[停止] (正方形) をクリックします。

**ステップ 4** 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

**ステップ 5** [送信] をクリックします。

---

## ボイスメッセージの転送

ボイス メッセージを転送したり、転送された音声メッセージまたは電子メール メッセージの前に再生される音声コメントを録音するには、このセクションの手順に従います。

### ボイス メッセージを転送するには

---

**ステップ 1** 開いたボイス メッセージで、[転送] をクリックします。

または、

開いた電子メール メッセージで、[アクション] メニューの [音声で転送] をクリックします。

**ステップ 2** 受信者の名前を入力します。

**ステップ 3** Media Master で、[録音] (丸) をクリックして音声コメントを録音します。

**ステップ 4** 録音を終了したら、[停止] (正方形) をクリックします。

**ステップ 5** 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

**ステップ 6** [送信] をクリックします。

---

## 削除されたメッセージの管理

ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダからメッセージを削除する方法は、電子メールメッセージを削除する場合と同じです。ただし、削除済みのボイス メッセージは灰色の打ち消し線付きのテキストで表示されます。削除したボイス メッセージは、Cisco Unity Connection によって消去されるまで、ボイス メッセージフォルダ内に残ります。

Connection は、一定の経過時間に達すると、削除済みのメッセージを自動的に消去することがあります。メッセージが完全に削除されるまでの保存期間については、管理者に問い合わせてください。そうすることにより、重要なメッセージをアーカイブまたは移動するための計画を立てることができます。



### ヒント

ボイス メッセージが削除される前にアーカイブするには、Media Master の [オプション] メニューで [ファイルにコピー] オプションを使用します。

また、削除済みのメッセージを手動で消去することもできます。

### 削除済みメッセージを手動で消去するには

ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、[編集] メニューの [削除済みメッセージの削除] をクリックします。

